



議会だより

Shari Town
Assembly



総務文教常任委員会 道内所管事務調査
白老町 ウポボイ



総務文教常任委員会 道内所管事務調査
滝川市 リサイクルクリーン



産業厚生常任委員会 道内所管事務調査
芦別市 スターライトホテル



産業厚生常任委員会 道内所管事務調査
当麻町 かたるべの森

道内の先進地を
視察しました!

No.201 令和5年・2023年11月1日

目次

- P 2 … 9月定例会議
補正予算・条例・議決議案・人事案件など
- P 4 … 全員協議会
- P 5 … 一般質問
9名の議員が町政を問う
- P13 … 新任議員研修会・議会広報研修会
- P14 … 委員会活動報告
- P16 … 決算審査特別委員会報告・編集後記など



9月定例会議 令和5年9月20日、21日、22日、10月18日

一般会計補正予算

1億9366万円

【住民】

- 犯罪被害者等支援見舞金事業
条例制定に伴い見舞金を支給するものです。
40万円

【新型コロナウイルス感染症対策事業】

- 子育て世帯給食費負担軽減事業
保育園、町内学校の食材料費増額分を支援します。
278万円

- デジタルクーポン発行事業
商工会による「まんぷ食うポンデジタル」発行事業です。
5700万円

- 介護施設等物価高騰対策支援事業
事業所の光熱費等の価格高騰分の一部を助成します。
400万円

【民生】

- 斜里町社会福祉協議会介護保険サービス事業支援事業
職員の処遇改善や施設の維持経費分を一部助成します。
647万円

【衛生】

- 事業系生ごみ減量化、資源化等調査事業
事業系（ホテル・スーパー等）の生ごみの調査を行います。
350万円

【農業】

- 麦・大豆生産技術向上事業
生産拡大に向けた機械導入に対し補助金を交付します。
352万円

- 新規就農者育成総合対策事業
新規就農者に対する助成金です。
787万円

- 持続的畑作生産体系確立緊急支援事業
種子馬鈴薯、豆類の安定供給対策、甜菜からの転換支援に対する補助金です。
2188万円

【教育】

- 学校机椅子更新事業
斜里中学校の机椅子を順次更新します。
381万円

- 公民館設備整備事業（本館分）
消防設備用非常用発電機の更新工事を行います。
2750万円

特別会計

- 国民健康保険事業
 - 国立公園内森林保全事業
 - 介護保険事業
 - 後期高齢者医療
- 各補正予算も可決されました。

条例制定・改正

◆斜里町まち・ひと・しごと総合戦略プラン策定委員会設置条例の改正

- ・条例の名称を「斜里町デジタル田園都市構想総合戦略策定委員会」に改正します。

◆斜里町犯罪被害者等支援条例の制定

- ・犯罪被害者等に対する支援として制定します。（令和5年10月1日より施行）

第8条 見舞金の支給

- (1)遺族見舞金30万円
- (2)傷病見舞金10万円

◆斜里町国民健康保険条例の改正

（令和6年1月1日より施行）

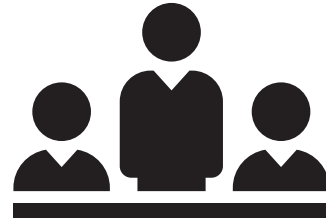
- ・出産に係る産前産後期間の保険料を減額します。

- ・適用期間を出産予定月の前月から出産予定月の翌々月までとします。

◆斜里町介護保険条例の改正

（公布の日から施行）

- ・要介護者への訪問リハビリサービスが出来るようになります。



議決議案

- 町道路線（峰浜12線道路）の廃止
- 町道路線（峰浜12線道路）の認定
- 町道路線（糠真布川右岸連絡道路）の認定
- ゆめホール知床 照明LED化工事
6523万円

意見書

- 肥料、燃油などの生産資材等高騰対策の強化を求める意見書

- 軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書

- ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

- 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

・提出者 荒木 敏則

・提出者 小暮 千秋

・提出者 若木 雅美

・提出者 若木 雅美

*関係機関に送付しました。

人事案件 選任の同意（敬称略）

■人権擁護委員

森田 拓巳

■固定資産評価審査委員会委員

武藤 香苗

■斜里町教育委員会委員

畑谷 あかね

■斜里町顕彰委員会委員

椿原 祥輔

平田 隆雄

馬場 浩一

深山 和彦

横田 章

土橋 利文

米本 照子

石崎 由美子

鈴木 正江

菊池 進





全員協議会

町から町政全般に関わる事項や、重要施策についてあらかじめ補足的な説明を受けるために、必要に応じて開催される会議です。
9月会議では5件でした。

① 第7次斜里町総合計画策定作業の進捗状況について（6月全員協議会報告以降）

- ・第1階層（基本目標）は、「持続可能なまちづくり」との繋がりに「つづけられるまち」で統一
- ・第2階層は、項目の理解しやすさを高める観点から「分野」として項目を明示（サブテーマが必要という意見あり）
- ・第3階層では、関連する個別計画及びSDGsの目標について明示
- ・体系図（案）として、基本理念は「みどりと人間の調和を求めて」
第1次計画から一貫して踏襲。基本テーマは「みんなで一緒にとりくむ、持続可能なまちづくり」
10年を見通し「持続可能」な町として次世代・未来へとつながるよう、町民憲章の精神である「みんなで」「まちづくり」に取り組むことをテーマとする

② 第9期斜里町高齢者保健福祉計画・斜里町介護保険事業計画の概要について

- ・計画策定に向けた国・北海道の動向を鑑み、主な改正ポイントは、介護情報基盤の整備・介護サービス事業者の財務状況の見える化・地域包括支援センターの体制整備
- ・第9期計画の基本目標は、健康寿命を延伸する健康づくりの推進、多職種連携体制による地域包括ケアの充実、医療を含めた施設・在宅サービスを安心して利用できる仕組みづくり
第9期計画において取り組む重点項目は介護予防・健康づくり施策の充実及び推進、状態の改善につながるサービス提供体制の整備。アンケート調査等分析結果概要は「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（65歳以上元気高齢者対象）」、「在宅介護実態調査（要介護1～5の在宅要介護者及び介護者対象）」にニーズ把握のため実施

③ 下水道会計の企業会計移行作業の進捗状況について

- ・基本的な方向性について、法適用時期は「令和6年4月1日」とする
- ・法適用の範囲は、「一部適用（財務適用）」を採用
- ・法適用に向けての準備作業
固定資産調査・評価・整備、事務手続き・システム構築
- ・移行スケジュールについて
令和3年度：固定資産の調査・評価・整備
令和4年度：固定資産台帳の整備・移行支援業務の委託（～令和5年度）
令和5年度：固定資産台帳の整備・システム導入・会計移行事務

④ 斜里町下水処理場・斜里郡3町終末処理場維持管理業務の共同化について

- ・資格所有者の効率的な配置により、委託に係る経費の抑制につながる
- ・事業主体を共同化することで、事務の効率化・諸経費コストの圧縮・委託に係る経費削減
- ・国からの広域化・共同化計画の義務付けを受け、MICS事業（下水及び、し尿共同処理）や維持管理の共同化を目指す計画とする

⑤ 宿泊税の取り組みと道内情勢について

- ・道と市町村との方向性に対する北海道の考え方と調整
- ・道内の他市町村の動向を見極める
- ・令和2年3月定例会議全員協議会で示した案のうち、税額を定額200円から定率2%に変更した
まずは、応能負担の考えに基づく「定率制」での検討を進めつつ、地元説明や道との調整を進める



小暮 千秋 議員

公共施設の暑さ対策、急ぐべきでは？



録画映像を動画でチェック▶

小中学校のエアコン整備について町の方針は？

問 この夏は観測史上最高の37.1度を記録する猛暑が続き、熱中症警戒アラートが発令され臨時休校になるなど前代未聞の夏になりました。今後の公共施設における暑さ対策について町長の所見を伺います。まず、小中学校のエアコン整備について町の方針は？

町長 令和2年度に策定した「学校施設管理計画」をできる限り前倒しできないか、国の補助制度の動向も注視しながら検討を進めているところです。

問 学校は休校にできても校内にある「仲よしクラブ」は休所できません。優先的に整備をしては？

町長 全体の工事を待つていては遅くなることも懸念されるため、方法含め検討していきます。

問 冷房設備のある公共施設については、「クールスポット」「クーリングシエルト」として住民に開放する自治体もありました。斜里町でも積

極的に周知しては？

町長 今後積極的に広報していきたいと思います。

問 町営住宅では現在エアコンの設置が許可されていませんが、見直すべきでは？

町長 今後は入居者から設置希望があった場合には申請許可方式により対応していく考えです。

不登校支援のためにもスクールカウンセラーの配置は急務です！

配置できない理由は何？

問 今年度から不在となっているスクールカウンセラーですが、配置できない理由は何ですか？

教育長 道教委の「スクールカウンセラー活用事業」を活用し派遣を受けてきましたが、要請しても見つからない状況です。今後は町教委での独自採用に向けて検討を進めます。

問 町の専門職として採用しては？

教育長 現時点で専門職を想定してはいません。問 カウンセラー不在の



改修工事中の朝日小学校。エアコンも設置されます。

中、不登校支援について具体的な対応はどうしますか？

教育長 現在スクールソーシャルワーカーが相談にあたっています。このことを再度周知していきます。また、適応指導教室「ひまわり教室」を「教育支援センター」として再整備を検討しているところです。

問 「教育支援センター」の整備はぜひ進めていたいただきたいが、職員の確保はできるのですか？

教育長 通級基準の明確化や人員増も考慮し体制強化を図りたいと考えます。

障がい児支援のために、通級指導教室を各学校に設置できませんか？

今後はウトロ学校や中学校にも設置を！

問 通級指導教室「ことばの教室」は今年度からこれまでの斜里小学校に加え朝日小学校にも開設されました。言語・聴覚のみならず、情緒面や行動障害、学習障害などにも個別に指導が受けられる通級指導教室の役割は大きいものです。今後は知床ウトロ学校や中学校にも設置できませんか？

教育長 知床ウトロ学校については、本務校から教員が出向いて実施する「サテライト教室」の設置に向けて検討していきます。

問 管内でも設置している中学校があります。希望に応じて中学生になっても通える体制は作れますか？

教育長 制度としては可能ですが、中学生も対象とするには担当の先生が中学校の教員免許を取得

していることが条件になります。

問 通級指導教室の先生の専門的知識、技術を全ての先生にぜひ共有していただきたいと思いますが、学校内外、関係機関との連携はどのように行われていますか？

また、仲よしクラブや児童館、放課後等デイサービス事業所も含め、関係者が一体となって情報共有できる組織体制（コンソーシアム）も考えては？

教育長 すぐにコンソーシアムは構築できずとも、これまで以上に緊密に連携していきたいと考えます。



今年度から開設された朝日小学校の通級指導教室

「子どものため・高齢者のため」に 冷房設備を!!

録画映像を動画でチェック▶



今井 千春 議員

問 近年の異常気象によりご承知のとおり地球温暖化が進む中、斜里町も最高気温に達したり、連日猛暑が続いています。

今後もこのような猛暑が想定されると考えますが、例えば子どもたちが集まる場所、学校は勿論のこと児童館・仲良しクラブなど、また高齢者が集まる場所、老人福祉センター・各自治会館などへ早急に、予算化し可能な限り冷房設備の設置が必要と考えます。

今現在の冷房完備施設の現状と、今後の計画について町長の所見を伺います。

町長 子どもや高齢者中心の施設などを優先的に、施設の利用頻度や今後の改修予定の有無、構造上の制約等を把握した上で、



国の補助制度の動向等、財源対策も合わせて整備を検討していきます。



早くクーラーを付けて下さい!!

高齢者に対して町中温泉利用補助金の対象へ!!

問 近年物価の上昇に伴い町民にとつては、生活苦になっているのが現状と思われまふ。

特に年金を頼りに生活している高齢者にとつては、非常に苦慮していると考えます。

そう言う中で、町長が選挙公約で訴えていた温泉施設の実現があります。特に昨年辺りから急に、資材高騰の報道がなされておられ、実現にあたっては、世の中の状況とタイミングが必要ではないかと、私自身も察しております。

そう言う現状を踏まえて考えるならば、せめて温浴施設が出来るまで、高齢者に対して物価高騰の一助として町中にある温泉施設利用の時には、補助金の対象にしては如何

温泉



高齢者に温泉入浴補助金を!!

かと考えますが、町長の所見を伺います。

町長 町の限られた予算内で、対象者と利用者の公平性や、物価高騰として効果が得られるかについて精査しながら他の方策も検討し、斜里町の高齢者にとつて最善の答えを見つめるべく努めていきます。

議会のお知らせ

次の定例会議は12月の予定です

日程など、詳しくは折り込みチラシ等でお知らせします。

議長宛の文書は議会事務局へ

議会議長宛の文書や案内状は、議長の公務日程上の調整をする必要がありますので、議会事務局へお届け願います。



金盛 典夫 議員

小型観光船安全対策の対応について

録画映像を動画でチェック▶



対策を講じる必要があるのでは?

問 知床の観光船事故から国交省はスライダー付き救命いかだなど安全設備の「義務化」の方向性を示しましたが、知床の事業者にとって義務化は著しく経営を圧迫する懸念があります。調査したうえで対策を講じる必要があると思うので町長の所見を伺います。

町長 小型旅客船の安全対策についての義務化には補助制度も設けられているが、地元観光船の運営・運航体系に沿うか不透明です。法に基づく安全対策は国による制度構築の推移を見極めて町として必要なことを考えます。

問 国と事故を起こした事業者に損害賠償が提訴されています。再発防止と知床観光の信頼回復のために観光船事業者間の協調運航が不可欠です。そのために「海の駅」「みなとオアシス」、あるいは国交省の直轄事業である「小型船だまり」等の制度を活用した施設整備が急務です。

町長 アクティビティリスク管理体制検討委員会の結果を最優先に考えます。

事業概要

〇次に掲げる安全設備を導入する事業者に対する補助。

1. 改良型救命いかだ等の導入 ✓ 乗り移り時の落水危険性を軽減する措置が講じられた救命いかだ等(改良型救命いかだ等)の導入 スライダー スライダー付救命いかだ(写真は大型船用)	2. 業務用無線設備の導入 ✓ 周囲の複数の船舶等との連絡が可能な業務用無線設備の導入 VHF無線電話の例	3. 非常用位置等発信装置の導入 ✓ 浸水時に衛星を通じて救助機関に救難信号を送るとともに、自船の位置を自動的に連絡することが可能な装置の導入 非常用位置等発信装置の例 救助機関(海上保安庁) 救難信号 非常用位置等発信装置
--	--	---

(国土交通省「義務化の方向性と補助の概要」より)

中国の水産物輸入規制にかかる斜里町の影響と対策について

問 中国の水産物輸入規制にかかる斜里町の影響と対策について漁業者の強い反対にかかわらず政府は福島第一原発の処理水を海中に放出しました。そのことによって、中国は日本の水産物の輸入を制限し、水産業界は著しい打撃を受けることが明らかになりました。斜里町の場合、特にナマコ生産について販路遮断が危

一般廃棄物処理基本計画及び広域事業の取り組みについて

問 広域事業による一般廃棄物の処理方式を選定する際、循環型社会形成や斜里町が宣言したゼロカーボンシティの理念を貫くべきです。

また、最終処分場の確保は極めて困難になると考えられるので処理システムについては極力処理残渣を資源化する方法を選定すべきと考えます。

町長 広域事業での一般ごみ処理は焼却方式を検討中です。また、斜里町の取り組みとして事業系

JR釧網本線の存続は観光振興の視点から

問 釧網本線を道東の地勢的優位性を生かす観光路線として存続させ、それによって地域住民の足を確保すべきというのが有識者の一致した見方です。

町長 観光を主力産業とする斜里町としては、第一段階として観光振興の視点から釧網本線を考えるべきで部署も観光部門が担当すべきと考えますが町長の所見を伺います。

町長 JR釧網本線など赤字路線は国・北海道・JRと沿線自治体それぞれがそれぞれ考えを持ち寄って協議しています。斜里町の所管課は引き続き住民生活課とし、商工観光課他関係各課と連携を深めながら対応したいと考えています。



JR釧網本線維持活性化実行委員会ポスター(一部)

町内小学校・中学校のエアコン等 熱中症対策は!

録画映像を動画でチェック▶



久野 聖一 議員



問 記録的な暑さに見舞われた今年の夏、学校現場から聞こえてくるエアコン設置の要望は多数ありました。政党等の調査では、それらの、設置状態では全国で本州が約9割、北海道はまだ1割しか設置されていない状況であります。朝日小学校は現在改修工事が行われ、来年までにはなんとか間に合わせるとの事。しかし残りの斜里小、斜里中、ウトロ学校に対しては急いで設置をしていただきたい。また熱中症対策として、保健室の対応、高層階の教室の対応、また設置が遅れた場合の扇風



問 昭和53年に整備されたこのアスレチックコース、最近の激しい暑さのせいか、屋外で暑さをしのげる場所として、町民の間ではよく使われているとのこと。家族で木陰を利用して楽しむ事もでき、今流行のジップラインの原型のような設備もあり、整備することによって、陸上競技場



などの施設も隣接しており、山あり、東屋から海も見える立派な施設になると思われます。斜里町には、ほとんどどのような遊び場がないとの意見があり、ここを再整備することによって、町民の遊び場や健康を維持できる場所になるのではないかと思います。町長の考えをお聞かせ下さい。

家族で楽しめる 夏の遊び場の整備を!

機を増設等についても聞きしたい。
町長 エアコンに関しては、国の補助事業の動向なども注視しながら早急に検討を進めています。また、熱中症対策は、ジ

ャージ登校への変更、うちわの持ち込み、冷却シート等の許可、屋外活動の中止、下校時間の繰り上げ、臨時休校等の措置を状況に応じて適切に行っていきます。

友好関係をさらに良好にする ため、皆様の知恵で乗り切れ!

問 今年には竹富町との姉妹町盟約50周年、弘前市との友好都市盟約40周年の年でした。お互いに町民、市民を派遣しあつて、友好関係や交流を促進する年でもあります。その中で殉難慰霊祭、歓迎式典のあり方、宿泊の配慮等について、町民の方からもう少し細かいところまで配慮すべきとの声が出ておりましたので、関係者の皆さんで知恵を出し合つて、次回につなげていけば、さらに両市町との良好な関係が築けると考え質問いたしました。
町長 慰霊祭での熱中症対策についてですが、気候変動による状況変化に対応した暑さ対策は今後必須と考えておりますので、どのような対策を取れるのか検討して参ります。



す。また歓迎式典のしおりについてであります。文字の小ささ等ご参加いただいた方からも同様の意見をいただいておりますので、次の機会には改善を図ってまいりたいと考えております。また周年事業の宿泊ですが、事前の情報提供の方法などを工夫しミスマッチが生じないよう検討して参ります。

町長 アスレチック施設につきましては老朽化が進んでおり、当面は点検した上で修繕を基本に考えて参ります。公園内での歩くコースの維持、修

繕などを含め、適正な機能配置につながるような利な財源の活用等も含めて検討したいと考えております。



海道 徹 議員

変化する時代における地方公務員の 人材育成のあり方について



録画映像を動画でチェック▶



職員研修は重要です!

職場内・外での研修状況は?

問 斜里町でも少子高齢化の進展・生産年齢人口の減少、人々のライフコースや価値観の多様化、また大規模災害の可能性、感染症リスクへの対応、さらなるデジタル社会の進展など、地方も急速に状況が変化しています。こうした中、職員の政策形成能力や創造的能力・法務能力など、さらなる組織力の強化・人材育成は重要と考えます。このことを踏まえて、町長の所見を伺います。

答 スキル向上のための職場内外での研修状況は?

町長 町の共通課題として、職場の安全衛生講習や、人事評価制度などを中心に、取り組んでいます。また、専門性を高め

るための研修については、近隣市町村での合同研修や、昨今はオンラインでの研修など多様な形でを行っています。

問 派遣研修・広域での共同研修実績は?

町長 まず広域では、管内町村会による初級・中級・新人係長研修など、経験年数や昇格に応じた研修を行っています。この他、幹部職員を対象とした自治大学校への入校や、自己提案研修として道内外の先進地視察などを行っています。

問 人材育成担当部署の検討・新設は?

町長 主管は企画総務課ですが、独立した部署を作ることは、いま現在かなり難しいと言わざるを得ない状況です。今後、資格取得に対する支援制度の創設や、若年層職員を対象とした参加型研修の実施・先進地視察への支援・全国レベルの会議への参加など、現在の体制の中でも工夫をこらして充実したいと考えています。

海岸域でのサケマス釣りローカルルールについて

ローカルルールの周知をレジャーにも!

問 近年、斜里町ではインターネットの普及により、全国からサケ釣り客が大量に押し寄せる状況となっています。これにより、日の出漁港やウト口漁港では、ゴミの投棄や糞尿など大きな課題となっています。同様に、海岸においても大量の町外ナンバーの車両により、ゴミの投棄や焚火、植生地への車両乗り入れ等がされており、目に余る状況下でもあります。昨年、斜里町海浜利用適正化検討協議会が立ち上げされ、様々な検討のもと今年7月にはローカルルールが策定されました。このルールは、町内関係者しか知られておらず、町内の方々からは、環境悪化を心配する声が上がっています。漁業とレジャーの共存としてはもとより、資源の確保と環境悪化の抑制のためにも必要な行動と考えますが、町長の所見を伺います。現状の



釣りのマナーを守りましょう!

把握・市街地から離れている海岸の状況について、撤去作業の徹底は?

町長 現状の把握については、漁業協同組合とも協力しながら、釣り人数調査をおおむね、5日おきに行っています。9月からは、昨年同様釣り人が増加していることを確認しています。また、撤去作業については、斜里警察署や海岸管理者である北海道など、関係する10機関・34名により、朝日町から峰浜まで約10kmの範囲で啓発と併せて実施しています。

問 町外の釣具店へのルール周知は?

町長 釧路をはじめ道内の一部大型店舗にはリーフレットを送付していますが、道内には200近い釣具店があることから、送付先は一部にとどまっている現状です。一方で、

ウェブやSNS、釣り場各所への、リーフレットボックス付き看板の設置のほか、シンポジウムの開催など一定の周知は得られていると考えています。

問 釣り客を制限するための方策は?

町長 関係団体と連携しながら、北海道等に対して必要な対応を要請していきたいと考えています。まずは、ローカルルールを浸透させることで、釣り人のマナーの向上とサケ・マス釣りが健全化され、海浜環境の改善につながるよう期待しています。

斜里町の窓口でもパスポートの発給事務が出来るようにすべき



録画映像を動画でチェック▶



木村耕一郎議員

問 平成18年の「旅券法」の改正により、市町村でもパスポートの発給手続きが可能となり道は「地方分権推進制度」に基づき、希望する市町村への事務移譲を行いました。今では、道内、オホーツク管内の多くの市町村がパスポートの発給事務を行っています。

斜里町でも、町民の利便性向上のため、パスポートの発給が町の窓口にてできるよう事務移譲を道に要望すべき。

来年度中にパスポートの窓口を開始したい!

町長 道内では145市町村がパスポートの窓口が開設されており、オホーツク管内では1市4町で窓口が開設されています。

1市4町で窓口が開設されているにもかかわらず、斜里町でもパスポートの申請には網走まで行かなければならないことから、窓口の開設について、必要性を感じていま



す。今後、北海道と協議を進め、町民サービスの向上に向けて、パスポート窓口の開設をします。

再 答弁にあつた、オホーツク管内でのパスポート窓口の開設していない1市4町は、総合振興局のある網走市の1市と隣接している大空町、清水町の2町で残りの2町は清里町と斜里町です。管内の事例をみると、津別町の町民は美幌町の窓口で、置戸町、訓子府町の町民は北見市役所の窓口でできる事務委託の契約を結んでいます。やっていない近隣町村と相談すべきと思うが。

町長 清里町、清水町とも相談したいと思います。

宿泊税の導入の際、観光振興策へ向け税の用途を明確にすべき

問 宿泊税を斜里町も導入する方向で検討を進めているが、宿泊税は法定外目的税であり、その法の趣旨に従い透明性を高めかつ、不安定財源である宿泊税を安定的に運用するために基金の創設をして安定財源化することが必要となります。またその基金運用の効果的かつ実効性を高めるために、観光関連者の意見を反映する協議会等の設置が必ずしも必要です。将来に向けた視点と複数年かかる大型の観光振興策も想定される点でもあり、そのために多年にわたる財源確保の必要から中長期的実施計画の策定が欠かせないものである。宿泊税導入の際の自主財源である税の運用について伺う。

宿泊税の取り扱い議員と同様に考えている

町長 6月の議会以降宿泊税導入の準備を再開している

答 いるところから。税徴収後の取り扱いについては、基本的に議員と同様に考えています。目的税として用途を明確化させながら支出していく手段として基金を利用するほうが効果的と考え、又、基金の用途を決定していくプロセスに加えて大型投資に備えて中長期的な実施計画も必要と認識している。北海道も税導入に向けた動きを再開しており、全道的な影響を与えることから、議員ご指摘を含め導入に向けた説明・協議・調整の場を設けていきたい。

入湯税も明確にしていきたい

問 斜里町には、目的税が2つあり、1つは入湯税、もう1つは都市計画

目的税とは…

使い道が特定されている税金のこと。

入湯税

用途は、環境衛生施設の整備、鉱泉源の保護管理施設の整備、消防施設その他消防活動に必要な施設の整備、観光の振興（観光施設の整備を含む）に要する費用に充てることとされています。



町長 その際には、入湯税も一緒に検討していきたい。

答 その入湯税は観光振興、泉源、消防施設など用途が決まっております。用途を明確にすることも求められております。宿泊税の導入の際には入湯税も同じく扱うべきである。



渡邊 誠 議員

どうする?ウトロの交通機関!



録画映像を動画でチェック▶

ウトロの交通の課題と対策は?

問 ウトロ地域の交通機関の現状についての課題認識とその対策について、どのように考えていますか?

町長 ウトロ地区の公共交通の課題は、これまで令和元年にはライドシェアの試みとして『ICTを活用した地域公共交通実証事業』を行いました。また、令和2年にはウトロのガイド事業者を対象に『自家用有償旅客運送』の勉強会を開催しました。その後、北海道運輸局と町、観光協会、ガイド協会と協議をしております。



すが、運行管理の担い手が見つかからない状態になってます。

いずれにしても、ウトロ地区の公共交通のあり方を早急に検討していく必要があります、本年度策定の『地域公共交通計画』

において、自家用有償旅客運送の取り組みの検討、カーシェアリングなどの導入を協議していきます。

問 早急に検討いただけたらとの答弁をいただけてよかったです。

検討するにあたって再度、課題を明確にしておきたいと思います。

令和元年のライドシェア(クルー)の実証運行を行った際の結果と課題については?

町長 iPhone、アンドロイドの機器の不都合で事業者利用者のマッチングがうまくいかなかったことと、使い方などの周知不十分な点。そして、タクシドライバーの不足です。

問 夜の観光、飲食、お土産、冬道が苦手な人、免許

を持っていない人、お酒を飲みたい人など様々な利用シーンや需要があります。観光シーズン以外でも、そしてさらに交通機関の利用時間の拡大も視野に入れて検討いただ

観光業、飲食業のためのデータ活用を!

マーケティングの現在の状況は?

問 飲食や宿泊、観光関係者は先々の需要予測が難しく、特に予約制ではない飲食業においては、その日に何人客が来るのか予想が困難で在庫や準備する食事の量、シフト作成に非常に苦労しています。斜里町の観光振興計画の中、基礎調査とマーケティングの強化という項目がありますが、観光業や飲食業にマーケティングを強化した際の支援などはあまり見られなかったように思います。

観光振興計画第6節にある「基礎調査とマーケティング強化」の現在の状況は?

町長 観光施設利用状況、宿泊者数、体験観光参加

けませんか?

町長 ライドシェアの活用を検討しながら、利便性を高めていきたいと思っています。

しかし、地域に一台でもタクシーがあると過疎

地域における特例措置には当てはまらないので、まずは現在の交通機関と協議しながら利便性を高めていければと思います。



需要予測のオープンデータ作成を!

問 次年度に行う観光振興計画策定ではデータを活用し関連事業者がいつでも見れるような需要予測に関するオープンデータを作成すること、つまり収集するだけでなく予測と提供という視点を盛り込むことを検討していただけないか?

町長 (予測に) 不確実性のある観光地ではビッグデータを収集し、活用して方向性を出していくことが重要と考えます。

問 今回の観光進行計画でその目的が達成できなかった要因は?

町長 プライバシーの問題とデータ活用の精度(実態把握の精度)の低

さです。

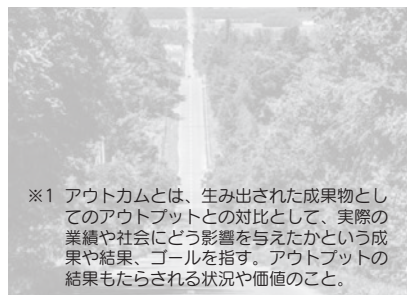
データを公開し提供することは重要なことです、その体制づくりに関し、観光協会などに相談していきます。

「AI活用による乗合タクシー」実証運行の
評価方法と今後の計画は?

録画映像を動画でチェック▶



佐藤 広之 議員



※1 アウトカムとは、生み出された成果物としてのアウトプットとの対比として、実際の業績や社会にどう影響を与えたかという成果や結果、ゴールを指す。アウトプットの結果もたらされる状況や価値のこと。

問 巡回バス「しやりぐる」は現在休止中で、11月末日まで「A」を活用した乗合タクシーの実証運行が行われていますが、何をアウトカム*1指標として評価しますか?

町長 しやりぐるの1日利用目標の25人の約45%を目標としてアンケート結果から総合的に判断します。

問 いつから、どのようにしますか? (①乗合タクシーだけにする、②しやりぐるに戻す、③両方の運用)

町長 費用対効果も含め、将来性を加味して総合的に判断していきます。

問 しやりぐるに戻す場合は、しやりぐるを、増便・時間延長・フリー乗降・よく利用する病院や

病院の機能分化を考えると地域の
課題解消に向けた病院建て替え
を考えてみては?

問 斜里町の国保病院の状況は、他の国保病院と比べ、①外来患者数が少ない、②職員給与費対医療収益比率が高い、③病床利用率が3年間連続70%未満です。③は、厚労省が示す指針で病床利用率が3年連続70%未満の病院は、再編・ネットワーク化や経営形態の見直し等抜本的に見直すことになっています。病院機能分化ですが、斜里町の地理的特性から観光地ウトロ地区があり、救急体制は4千人を見越した考えも必要とあります。ウトロ地区での災害、事故、脳卒中や心筋梗塞等で倒

スパー等の停留所待機時間を長くする等、利用しやすいように改善・検討されますか?

町長 増便や始発終点の変更は難しいです。また自由降車は安全が確保されたら今も実施しています。

問 「人材不足の解消」

としてドライバーのサポート制度として募集してみるのはいかがですか?

町長 ボランティア等は研修受講や職員同様の要件が満たす等、ハードルが少し高いと感じています。

れる患者の救急対応等を考えると、今は無理でも将来は手術ができる病院になる必要性を感じます。そこで病院の建て替え、あるいは大規模改修の方針は、いつまでに決めていきますか?

町長 改築または大規模改修は必要と認識していて「7次総合計画」で判断していきます。

問 医師、医療職の人材不足を今後どうしていかれますか?

町長 引き続き、関係機関と連携等人材確保に向けた取り組みを進めていきます。

問 赤字の原因は何で、

令和5年度及び今後の「過疎対策事業債(過疎債)」の使い方は?

どうやったら変えていけると思いますか?

町長 支出の削減、地域包括ケア病床の開設等あらたな加算取得による収益の向上等取組に努めているところです。

問 斜里町の病院機能は今後どうしていきますか? 「地域医療連携推進法人」は検討しますか? 手術可能な救急医療体制が必要な地域だとは思いませんか?

町長 現時点では近隣の他の医療機関と更なる連携に努めていく、国保病院は1.5次救急体制を担っているため、当病院の医師の判断の元、網走の医療機関へ搬送を行うなど対応を進めています。手術できる救急体制を整備するには、手術室や更なる医師、看護師等の人材確保が必要になると考えています。

斜里町は過疎地域指定を受けていて「斜里町過疎地域持続的発展市町村計画」(令和3～7年度)を提出していますが、過疎対策立法は12年までの10年間。過疎対策事業債は、幅広い施設建設等、計画的に利用していきたいと考えて期待しています。

問 今期令和5年度に申請済の事業、あるいは、申請していく予定の事業の候補も含めお伺いします。

町長 朝日小学校の学校超寿命化改良事業等、18

事業の計画書を出しています。

問 過疎対策事業債を利用する今後の施設方針を7次総合計画とともに町長の見解はいかがですか?

町長 具体的協議は未了で今後示していきますが「廃棄物広域中間処理施設」が多額の事業費を要することから、優先的活用を想定しています。今後策定する7次総合計画を尊重し、より効果的・計画的に活用していく考えです。



若木 雅美 議員

町政を問う! 一般質問 9月定例会議

猛暑への対応は急務! 公共施設のエアコン整備を



録画映像を動画でチェック▶

問 町内公共施設のエアコン整備について、学校、避難所となる体育館、病院は、早急な対応が必要と考えます。

町長 町立学校については、国の補助事業の動向等も注視し、迅速な対応を検討しています。体育館は、冷却容積等を考慮し、スポット型冷房機器の設置を含め検討します。国保病院は、今後の施設大規模改修も視野に入れた中で検討します。

問 学校における熱中症の発生は8割が体育の授業や部活動の運動中に起きているとのデータがあります。体育館も整備する方向で検討すべきではないでしょうか。

町長 コスト、受電整備などの理由から、スポット型冷却機器で検討をします。また、授業の組替えを行い、熱中症対策を行います。

問 病院は大規模改修までは、工事不要な移動式エアコン等を設置するべきではないでしょうか。

町長 現場からも要望がありますため、スポット型冷却機器を検討してお

整備はどのように進めるか

問 町内公共施設へのエアコン整備について、必要性、進め方、整備する範囲は、どのようにお考えですか。

町長 暑さ対策に対する考えをあらため、一定の対策は必要と考え、整備の進め方は、施設利用対象者や利用頻度、改修時期等から優先度を決め、年次的に整備を検討します。

問 優先度の検討する際には、猛暑時の避難場所（クールシエルター）の位置も視点に加えるべきでは。

町長 必要と考えますが、施設全ての整備は、難しいと考えます。

問 博物館、庁舎も整備すべき施設です。

町長 まずは、町民の健康、いのちを守ることから取り組みます。

新任議員研修会

町村議会新任議員研修会

オホーツク管内を始め道東町村の新任議員80名+議会事務局職員22人の102人(29町村)による新任議員研修会が釧路市で開催され出席しました。

講演は、元全国都道府県議会議長会事務局次長 鵜沼信二氏による「地方議会の制度と運営に関する基礎的事項について」と題し議会の役割や権限などを含め自治法と会議規則等について話されました。

鵜沼氏は書籍(地方議会実務講座等)も出版されており新任議員の心得を最後に講演は終了しました。

講演後の質疑応答では新人議員研修であるので初議会における議会運営についての質疑等が活発に行われました。



7月25日

釧路市

8月17日

議会広報研修会 (伝わる議会報の編集ポイント)

8月17日に札幌で行われた議会広報研修会に広報常任委員会で参加しました。

会場には全道市町村から約600名の参加がありました。

講師には自治体広報広聴研究所代表理事であり広報アドバイザーの金井茂樹氏による講義を受けました。

前半は「伝わる議会報の編集ポイント」と

して3つの心がけ①誰に(ターゲット)②何を(情報の範囲)③どのように(表現・目的・意義)を中心に読者の関心と理解を得るためのポイントについて学びました。

後半は他町の『議会だより』を参考に具体的な改善策(罫線や文字の視認性や判読性、写真の挿入ポイント等)を学びました。とても勉強になりましたのでこれからの「議会だより」の編集作業に役立てるように取り組んでいきたいと思いました。



札幌市

議会広報研修会

委員会活動報告

総務文教常任委員会・産業厚生常任委員会
議会広報常任委員会・議会運営委員会



斜里町議会では、4つの委員会のほか、特定の審査をするための特別委員会を設置し、それぞれの役割をもって活動しています。今月は令和4年度の決算審査特別委員会が4日間行いました。

総務文教常任委員会

- 7月13日（第3回）・道内所管事務調査について
- 8月16日（第4回）・道内所管事務調査候補先及び行程について
- 8月29日～31日 ・道内所管事務調査
- 9月13日（第5回）・9月定例会議議案説明
- 9月21日（第6回）・町内所管事務調査について

産業厚生常任委員会

- 8月8日（第4回）・道内所管事務調査について
- 8月28日～30日 ・道内所管事務調査
- 9月12日（第5回）・9月定例会議議案説明
- 9月20日（第6回）・町内所管事務調査について

議会広報常任委員会

- 8月17日
・議会広報研修会（札幌市）
- 9月22日（第6回）
・議会だより201号作成スケジュールについて

議会運営委員会

- 9月15日（第5回）
・9月定例会議の議事運営について
- 9月20日（第6回）
・9月定例会議第2日目に係る協議について
- 9月21日（第7回）
・9月定例会議第3日目に係る協議について



所管事務調査とは

町から提案された予算案条例案などの議案を審査するのとは違い、条例の立案や町への政策提言などの政策形成等を目的に、常任委員会が自主的に所管する事務について行う調査のことです。

総務文教常任委員会

道内所管事務調査 9月29日～9月31日

* 滝川市・中空知衛生施設組合リサイクルクリーン

● ゴミ処理広域化の経過・現状・課題について

中空知3市2町で、ゴミを資源として再利用すると共にエネルギーを有効利用し、埋立量やダイオキシン類の発生を抑え、循環型社会の理念に相応しい施設を稼働した。

平成15年4月には、管理棟・中継施設・リサイクルプラザの資源選別部門を開始。平成15年8月には、高速メタン発酵処理施設（バイオガス化プラント）、リサイクル部門の破碎部門を開始し現在に至っている。

課題については、少子高齢化に伴い人口減少になり、生ゴミ量も減少傾向になることからメタンガス発酵をさせる為には、現状の生ゴミ量が必要であり今後の課題である。

● メタン発酵後の堆肥化の取り組みと需要について

メタン発酵肥料、生ゴミから生まれた有機肥料であり、大半の販売先は農家が購入しているが、将来的には高齢化により販売減になる可能性がある。また、5市9町で可燃ゴミを歌志内にある焼却施設を利用している。以上であるが、斜里町も1市4町により広域化を計画しているが、今後の人口減を考慮しながら進めるべきと考える。



滝川市 リサイクルクリーン

道内所管事務調査

* 白老町・ウポポイ（民族共生象徴空間）

● 白老町におけるアイヌ施策の取り組みについて

白老は特に歴史と文化について歴史があり、アイヌ政策・アイヌ施策基本方針・アイヌ施策推進地域計画等を作成し、将来に亘っての課題等もあるが継承に尽力している。

その取り組みが国に評価されウポポイ（民族共生象徴空間）が2020年に完成し、アイヌ民族、アイ

ヌ文化の「過去」「現在」「未来」を通じた複合的意義を有する空間として整備され東北以北初となる国立博物館とともに、民族共生公園、そして慰霊施設により構成されており2020年7月から2023年6月末の入館者は、874,000人に至っている。

今後斜里町においても、ウポポイは観光資源であり知床博物館・知床自然遺産センターなど積極的に取り組む必要がある。

*札幌市・北海道介護ロボット普及推進センター

・ロボットの活用による人材不足の解消について

数台の介護ロボットが展示され、それぞれ使用用途の説明を受け、実際に体験をしてみた。

時代と共に進化した介護ロボットに感銘させられた。

斜里町においても、看護師・介護士の人材不足が大きな問題であり、国保病院・特養など町内各施設でこのような介護ロボットの活用が必要と思われた。



白老町 ウポポイ



札幌市 北海道介護ロボット普及推進センター

産業厚生常任委員会

- 8月28日～30日の3日間、産業厚生常任委員会では道内所管事務調査を実施しました。今期4年間の重点テーマである「人手不足への対策」を中心に、所管であります各産業分野、福祉分野について先進地の取り組みを調査しました。

*芦別市

- ・温浴施設における多種多様な取り組みについて
- ・指定管理委託の経過と内容について

「芦別スターライトホテル」にて調査。サウナやレストランの他に1万冊の漫画・書籍・雑誌や飲み放題のドリンク提供など長時間滞在できる工夫が充実。首都圏で事業展開している企業とフランチャイズ契約を結び集客に効果が出ている。斜里町でも温浴施設建設が期待されているが、事業目的の見極めが重要であり、今後の参考になった。



芦別市 スターライトホテル

*当麻町

- ・障がい者施設における農福連携の取り組みについて

「社会福祉法人かたるべの森」は平成8年の発足から10事業を幅広く運営。施設職員の確保のため、旭川市内の大学、専門学校との連携や短時間勤務など、柔軟な仕組みを工夫。利用者が生き生きと活動できる環境づくりに努めている。



当麻町 かたるべの森

*砂川市

- ・子どもの遊び場づくりの取り組みについて

「砂川ハイウェイオアシス館」で屋外施設を見学。施設や遊具は老朽化している様子。斜里町でも子どもの遊び場整備は課題の一つであるが、維持管理の視点も必要と感じる。



砂川市 ハイウェイオアシス

*千歳市

- ・千歳市における介護と医療の連携について
- ・人材確保のための基金設立の経緯や運用状況について

「NP0法人ちとせの介護医療連携の会」について調査。在宅医療・介護推進事業、地域包括支援センター事業、人材確保・離職者防止対策推進事業を柱に、事業者間の情報共有支援や研修も行っているとのこと。



千歳市

令和5年度の決算審査特別委員会が9月定例会議の2日目（9月21日）に設置されました。令和4年度の予算が適切に執行されていたか、また各事業についての実効性と効果について審査を行いました。

審査は9月29日から10月5日までの5日間実施し、10月18日の定例会議で報告、付託された認定第1号から認定第8号はいずれも認定とされました。



付帯意見

- 令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策も行われ、様々に社会活動に対する制限の緩和がなされ、町内経済も回復の兆しを感じられる。一方で、どの分野においても人手不足は深刻であることから、人材の確保と育成に対しては、予算の拡充も含め実効性ある施策の充実を望む。
- 介護・医療・福祉分野においては事業所のサービス低下や経営状況の悪化が懸念されることから、町民の福祉向上の観点からも安心して暮らすことができるよう、早急な取り組みが必要である。
- 社会福祉法人に対する緊急支援を行ったが、当初の目的のユニット再開には至っていない。介護サービス事業の充実のため町と法人はそれぞれの任務を認識し、更なる信頼構築に努めること。
- これまで取り組みを進めてきた地域公共交通については、地域住民の意見を反映し更なる利便性の向上が図られるよう期待する。また、観光客の利用も含めウトロ地区・郡部それぞれの地域特性に合わせた事業展開を望む。

編集後記

今年の夏は連日、猛暑が続きましたね。
“北海道の夏は涼しい”
という環境ではなくなってきました。

今回の一般質問もそのような環境変化にこの町もどう対応していくかという内容が多かったように思います。

町の原資にも限りがあります。

最適な対策には町民の声を聞き、どんな場所にどのような優先度で対応するかが重要です。

引き続き、広報委員会ではわかりやすい議会だよりを目指して努力していきます。議会がどのようなことを議論しているのか一人でも多くの方に知っていただき意見をいただけると幸いです。

広報委員会 荒木敏則、渡邊 誠、小暮千秋、石井博美、佐藤広之、海道 徹

◇ 議会事務局よりお詫び ◇

①当議会のホームページにおいて、お問い合わせフォームに不具合が生じており、議会事務局宛にメールが転送されていなかった事象が発生しておりました。現在は利用可能となっておりますが、過去にお問い合わせをされた方で議会事務局より返信がなかった方がいらっしゃいましたら、お手数ですが再度お問い合わせいただきますようお願いいたします。

②9月定例会議1日目、9月20日(水)の議会インターネット中継につきまして、機材トラブルにより音声が入っておりませんでした。なお、現在YouTubeでは音声が入った動画を配信しております。

上記2点につきまして、皆様に大変ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。

- ・Facebookで議会の情報を発信中！
- ・ホームページでは、議会インターネット中継、録画配信・会議録、広報も見ることができます。

<http://gikai-sharitown.net/index.html>

Facebook



ホームページ



斜里町議会

で検索



発行：斜里町議会 〒099-4192 斜里町本町12番地 ☎(0152) 26-8392〔直通〕 編集：議会広報常任委員会